資料１－１

津山市の産業振興の取り組みについて

第１部　ステンレス加工技術に特化した人材育成とクラスター的取組によるリーデング産業の振興の経緯

2015年2月19日

つやま新産業創出機構

1. 津山市について

人口：10万5千人

面積：506㎢

北緯35度・海抜100m

製造事業所数：228事業所

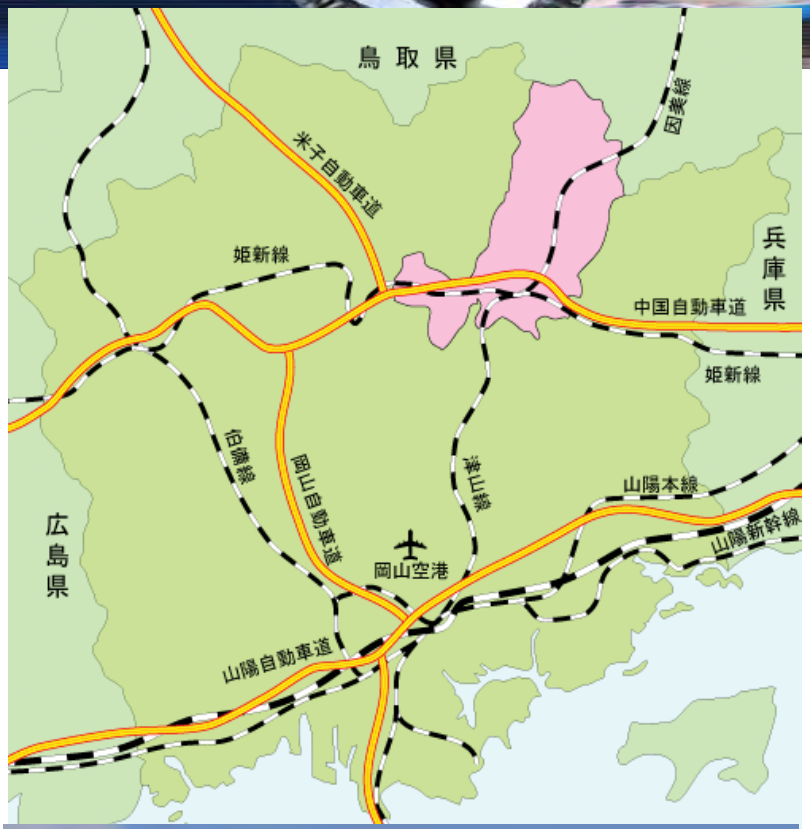
製造品出荷額：2,266億円

小売業：1,211事業所

年間商品販売額：1,391億円

産　業　別	就 業 人 口	率
就業者総数	50,472人	100．0%
第一次産業	2,982人	6.4%
第二次産業	13,125人	28．0%
第三次産業	30,719人	65.6%

資料　平成22年国勢調査



2. つやま新産業創出機構とは

（1）誕生の経緯

H7つやま育成産業ビジョン制定
工場誘致主導の工業振興施策から内発型産業振興へ

○津山市の半官半民の非営利外郭団体
　設立：平成8年4月
　職員：常駐職員7名（産業活性化アドバイザー3名
　　津山市新産業創出課ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ係4名）

○取り込みスタンス
　経済的な自立、他地域と差別化できる強い産業構造を構築

○行政とは異なる「選択と集中」で、リーディング産業の育成
　意欲のある企業者等を対象に産官学民連携により、新技術・新商品開発から販売までを一体的に支援

(2)クラスター対象産業の選定

H7年当時、下記の分析を行い、ステンレス加工業をピックアップ

候補業種	抽出基準					
	津山地域の特化度	成長性の適合度	移出産業適合度	企業集積適合度	H4/S63出荷額伸び率%	備考
製材・木材家具製造業	◎	○	◎	◎	△	地場産業の代表特化度大
製紙紙加工製造業	○	○	○	△	◎	大手の寡占
電気機械器具製造業	◎	◎	◎	△	△	大企業の企業城下町組織
金属製品一般機械製造	◎	◎	◎	◎	◎	(注:ステンレス加工業に限る)
食料品製造業	△	○	△	○	△	出荷額大半は畜産食品　伸び鈍化
繊維工業・ﾆｯﾄ製造業	○	○	○	○	◎	H4/S63　伸び率80%

（3）地域資源の活用・特徴

産業振興の機関車役に津山地域のステンレス加工業を抽出

◆<u>津山地域のステンレス加工業選定の理由</u>

①60数社の集積

②主は資本財の加工

（途上国が追随しにくい。技術＋最新設備が必要）

技能の向上と伝承の人材育成が大前提

③サニタリー中心で将来性がある

（他分野への参入も可能）

３．リーデング産業の振興経緯

（1）ファースト　ステージ（平成8年～平成18年）

ステンレスネット立上げ(10社)

技術の向上を図り共同受注により高付加価値商品の開発加工を行い、ステンレス加工の一大集積地を地域外に広くPR

具体的取組

（1）技術習得・向上を目的とした研修

（2）産学が連携しての新技術開発及び新商品開発

（3）展示会出展等の需要開拓

（4）技術レベル、経営レベル向上のため各企業経営資源の相互活用

（5）他の共同受注グループや企業との交流

（2）セカンド　ステージ（平成19年～　　）

ステンレス産業クラスターの形成（津山高専、岡山県工業技術センター含む23社）

「*津山を日本のステンレス加工基地へ*」

具体的な取組

(1)ステンレス産業を担う人材育成（技術の向上と伝承）

⇒若手技術者、実践型管理技術者

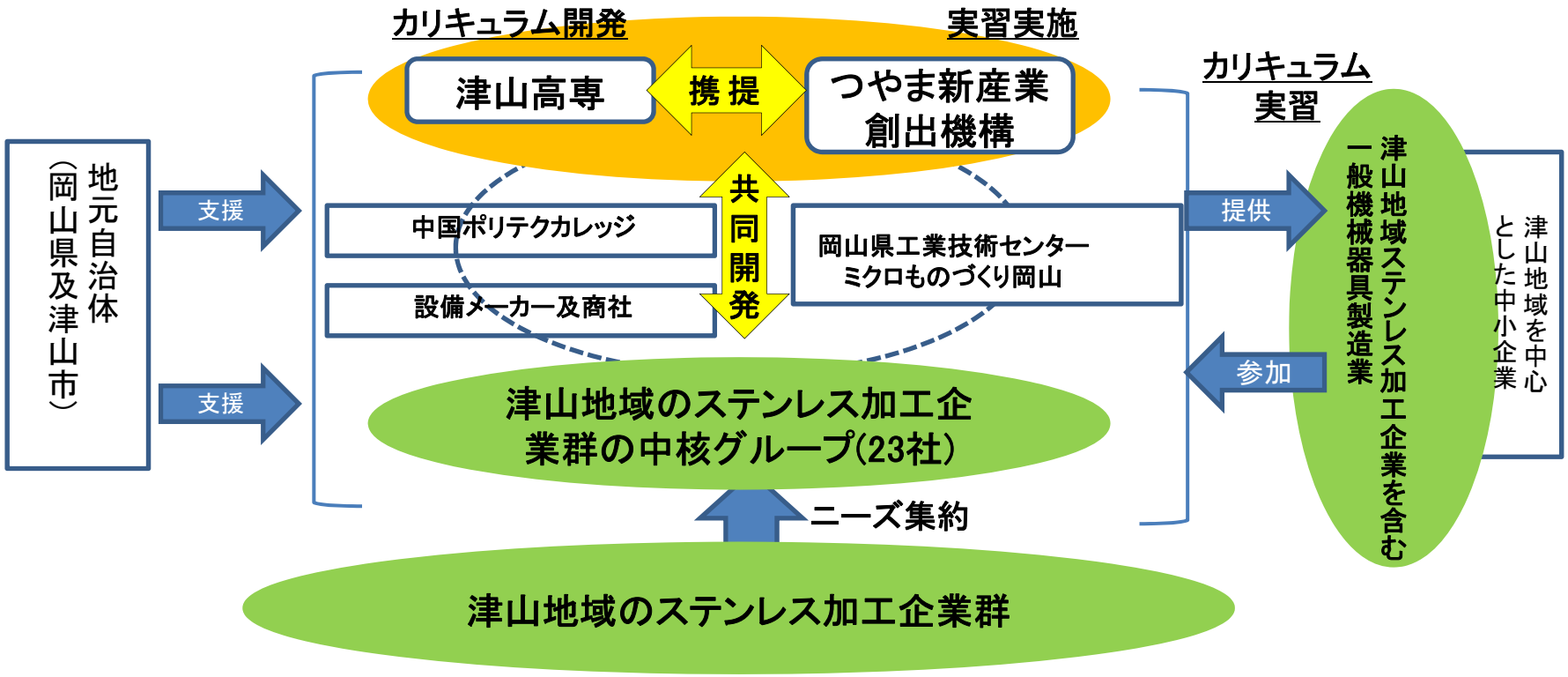
(2)技術補完による共同受注の拡大（付加価値の高い加工）

(3)新商品・新技術開発へのクラスター的取組

⇒新事業開拓、新市場開拓

(4)ミクロものづくり岡山（精密加工クラスター）との連携

ステンレス技術人材育成カリキュラムの開発と育成教育（H18年～　）



品質計測、CADの応用技術プログラム開発と教育（H20年～）

現場実践型管理技術者育成教育プログラム開発と教育（H23年～）

（3）地域資源の活用（技術、人材等）

（1）岡山県のミクロものづくり岡山創成事業と連携した産学官の取組

・企業の競争力強化（ステンレスネットの登録）

・ブランドの形成促進（機械要素技術展の岡山県ﾌﾞｰｽに出展）

（2）サニタリー技術の応用で、他分野への参入による新規事業展開（医療、環境、エネルギー等）

（3）人材育成、技術開発で、津山高専との連携、津山高専技術交流プラザ活動を通じた新たなビジネスモデルの構築

（4）ステンレスネット取組時に生じた課題
（平成9年～平成15年）

胸襟を開いた仲間作りが未完成

（1）従来の発注元企業の離反
（2）技術レベルの差が技術補完の妨げ
（3）技術補完に加われない企業
（4）引き合い物件への熱意に差が発生
（5）目的の履き違え

↓

1度解散して、継続6社、新規2社を含む8社で再結成
（平成15年～）

（1）技術レベルの均一化（高いレベル）
（2）スローガン制定（技術は競争、引き合い物件には協調）
（3）規約を制定

4. ステンレスクラスターの成果

（1）新技術・新製品の開発
①新技術開発と商品化

各種配管、継ぎ手部品

チャンバー

充填機構成部品

世界初　耐震耐久性を備えたステンレス製 給排水継手の開発(オーエヌ工業）

②新事業展開

純チタン全部床義歯

新連携、ジェトロの支援

水田用除草ロボット

農工一体で実験検証

（2）事業の拡大

①事業拡大による新工場新設　:5社

IKOMAロボテック㈱（2011）、ハリキ精工（2012）、㈲美研（2012）
池田精工㈱（2013）、オーエヌ工業㈱（2014）

②補助金獲得による事業構造改革

ものづくり中小企業小規模事業者試作開発等支援補助金
2013年度：4社、2014年度：5社
円高エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業
2013年度：1社

（3）雇用の創出

①.若手技術者の育成教育

2012年度より厚生労働省の実践型地域雇用創造事業推進メニューとして、求職者、企業の在職者　に展開をして地域企業の人材育成に寄与

2013年度実績　：　89人（求職者20人、在職者69人））
2014年度実績　：　98人（求職者70人、在職者28人））

②雇用・経済効果

津山ステンレスネット（8社）

	2004	2013	増加率
従業員数(人)	123	206	167%
売上高(百万円)	1,820	2,869	158%
設備投資(百万円)	58	335	578%

2004年～2012年延べ効果：
売上高　928百万円、設備投資603百万円

津山ステンレスクラスター(20社)

2014年現在
売上高　約200億円
従業員数　約650人
※ステンレスネットを含む

これからの取り組みについて

第2部　つやま産業支援センターの立上げと中山間地発信型の産業集積

2015年2月19日

つやま新産業創出機構

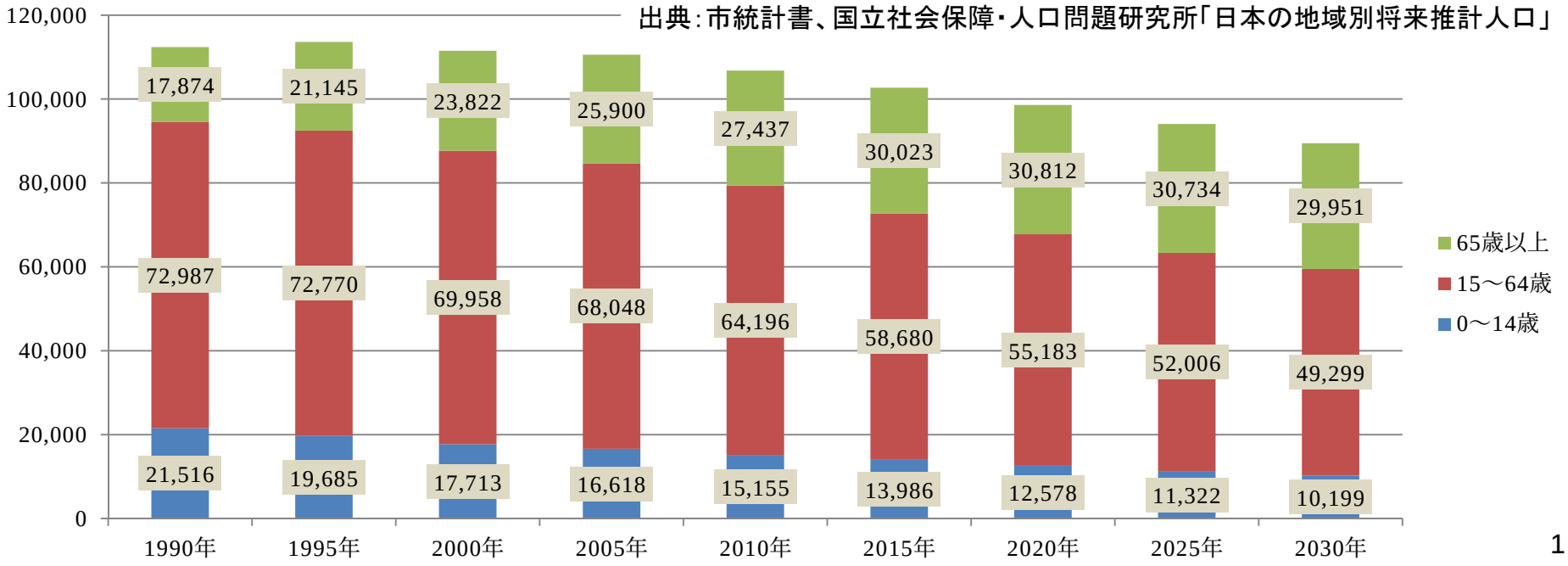
1. 津山市の現状

①人口の推移

単位：人

		実績					推計			
		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年
人数	総人口	112,386	113,617	111,499	110,569	106,788	102,689	98,573	94,062	89,449
	0～14歳	21,516	19,685	17,713	16,618	15,155	13,986	12,578	11,322	10,199
	15～64歳	72,987	72,770	69,958	68,048	64,196	58,680	55,183	52,006	49,299
	65歳以上	17,874	21,145	23,822	25,900	27,437	30,023	30,812	30,734	29,951
構成比	0～14歳	19.1	17.3	15.9	15.0	14.2	13.6	12.8	12.0	11.4
	15～64歳	64.9	64.1	62.7	61.5	60.1	57.1	56.0	55.3	55.1
	65歳以上	15.9	18.6	21.4	23.4	25.7	29.2	31.3	32.7	33.5

出典：市統計書、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



1. 津山市の現状

②民営事業所従業者数の推移

ほぼ同水準（業種により増減）

単位：人

事業所・企業統計調査	2004年度	経済センサス基礎・活動調査	2012年度
総数	45,214	総数	45,456
農林漁業	110	農業、林業、漁業	246
鉱業	29	鉱業、砕石業、砂利採取業	2
建設業	4,693	建設業	3,625
製造業	7,905	製造業	② 8,171
電気・ガス・熱供給・水道業	370	電気・ガス・熱供給・水道業	285
情報通信業	518	情報通信業	331
運輸業	1,917	運輸業、郵便業	1,871
卸売・小売業	11,877	卸売業、小売業	① 10,300
金融・保険業	1,199	金融業、保険業	1,080
不動産業	620	不動産業、物品賃貸業	947
飲食店、宿泊業	3,329	宿泊業、飲食サービス業	4,087
医療、福祉	5,609	医療、福祉	③ 7,329
教育、学習支援業	859	教育、学習支援業	1,025
複合サービス事業	585	複合サービス事業	537
サービス業（他に分類されないもの）	5,594	生活関連サービス業、娯楽業	1,727
		学術研究、専門・技術サービス業	848
		サービス業（他に分類されないもの）	3,045

約1,000人減少

約200人増加

約1,500人減少

約1,700人増加

出典：事業所・企業統計調査、経済センサス基礎・活動調査

1．津山市の現状

③求職者数、求人数、求人倍率の推移（ハローワーク津山管内）

職　　業	有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率	
	2010	2012	2010	2012	2010	2012
職　業　計	44,871	40,990	19,197	29,116	0.43	0.71
A　管理的職業	94	70	46	99	0.49	1.41
B　**専門的・技術的職業**	**4,786**	**3,656**	**7,253**	**8,178**	**1.52**	**2.24**
建築・土木・測量技術者	677	395	736	1,105	1.09	2.80
情報処理・通信技術者	236	177	202	317	0.86	1.79
保健師、助産師、看護師	**519**	**389**	**2,415**	**2,846**	**4.65**	**7.32**
医療技術者	155	170	566	1,048	3.65	6.16
社会福祉の専門的職業	1,768	899	1,967	1,638	1.11	1.82
C　**事務的職業**	**7,883**	**7,113**	**1,580**	**2,327**	**0.20**	**0.33**
D　販売の職業	4,352	3,412	2,108	2,533	0.48	0.74
E　サービスの職業	2,662	3,265	2,148	4,495	0.81	1.38
F　保安の職業	286	342	444	1,528	1.55	4.47
G　農林漁業の職業	538	532	318	383	0.59	0.72
H　**生産工程の職業**	**20,034**	**7,995**	**4,566**	**4,855**	**0.23**	**0.61**
I　輸送・機械運転の職業	2,353	1,965	734	1,618	0.31	0.82
IT関連職業合計	737	1,004	463	838	0.63	0.83
福祉関連職業合計	2,564	2,304	4,674	6,135	1.82	2.66
（うち介護関係）	(1831)	(1771)	(1888)	(2623)	(1.03)	(1.48)

求職者不足

求職者不足

人材育成
マッチング

求人不足

求人不足

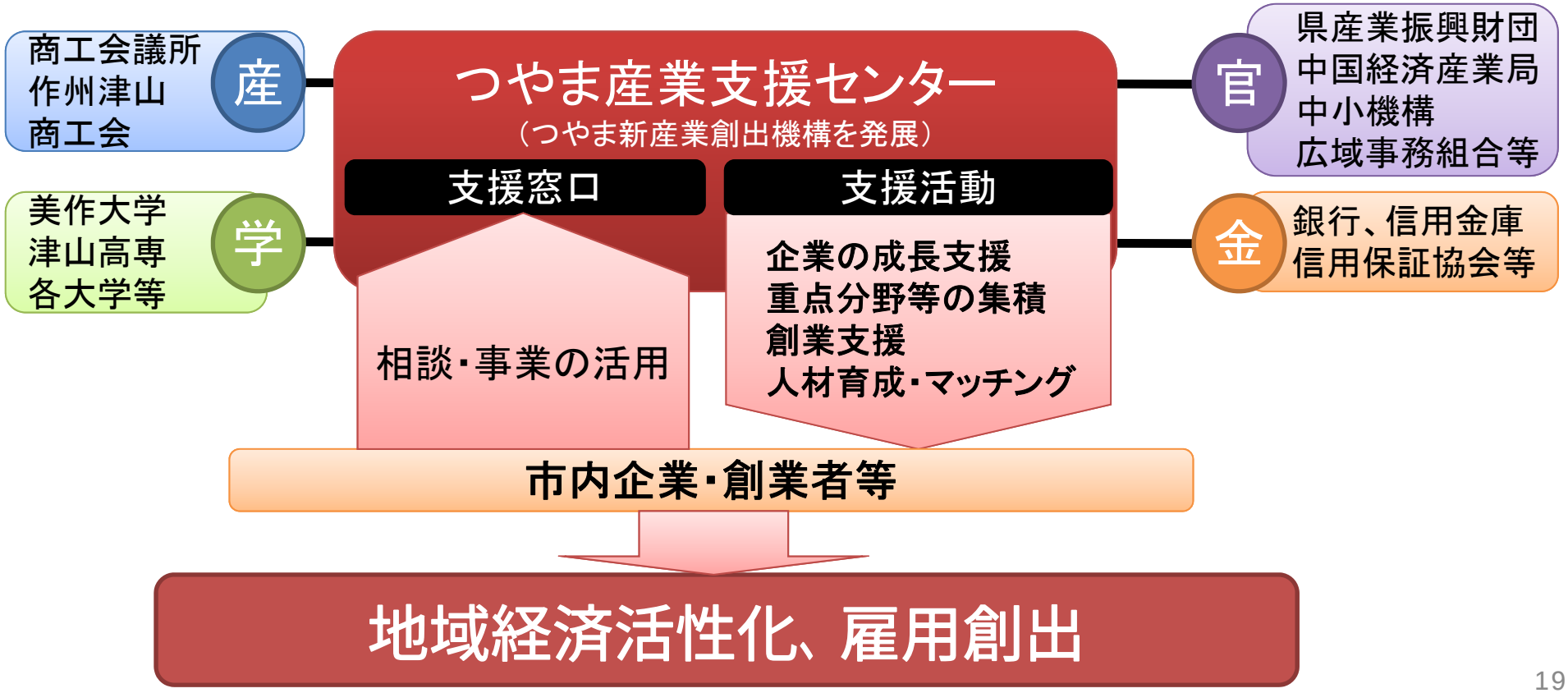
企業誘致
企業活性化

出典：ハローワーク津山資料より独自に集計、抜粋

2.津山市の新たな取り組み

雇用創出、維持を目的とした新たな産業振興体制づくり

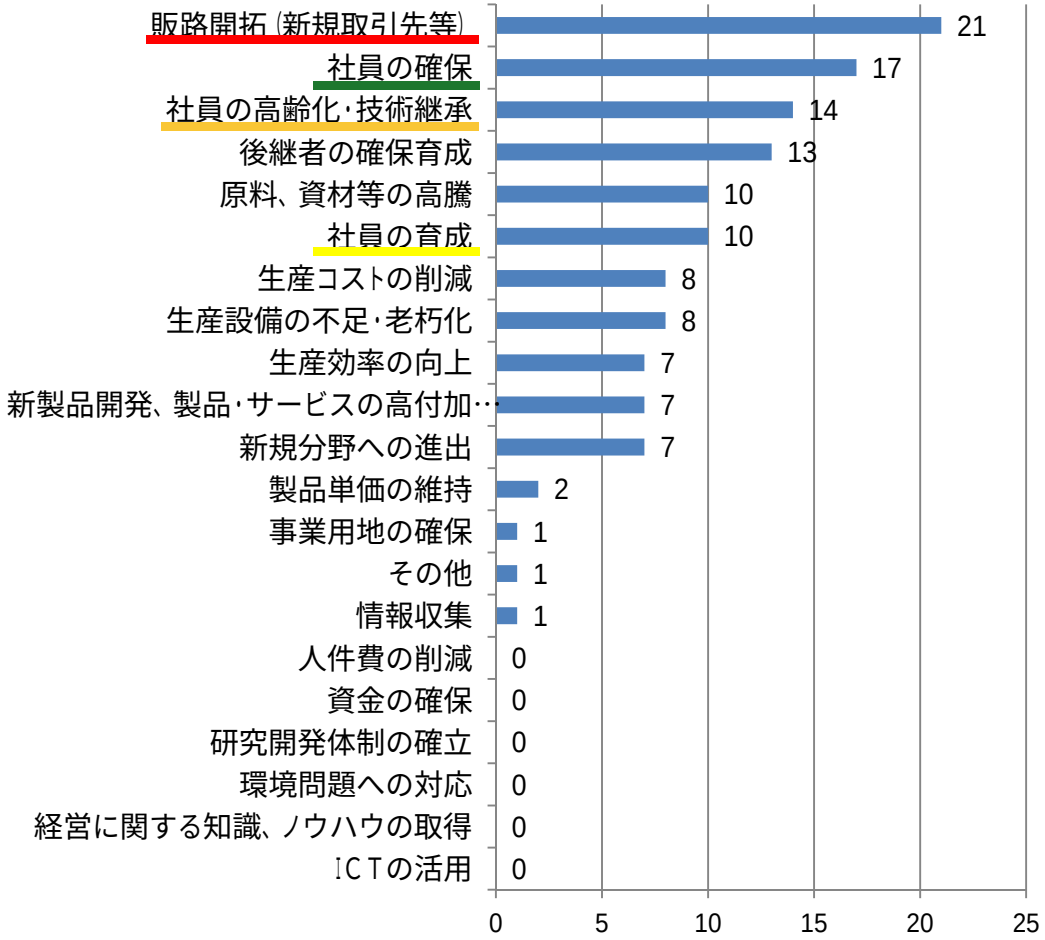
・地域内発型の産業振興に資する「産業支援センター」を設置
・専門家を再配置し、成長を目指す企業・創業者を、関係機関と連携し総合的に支援する。



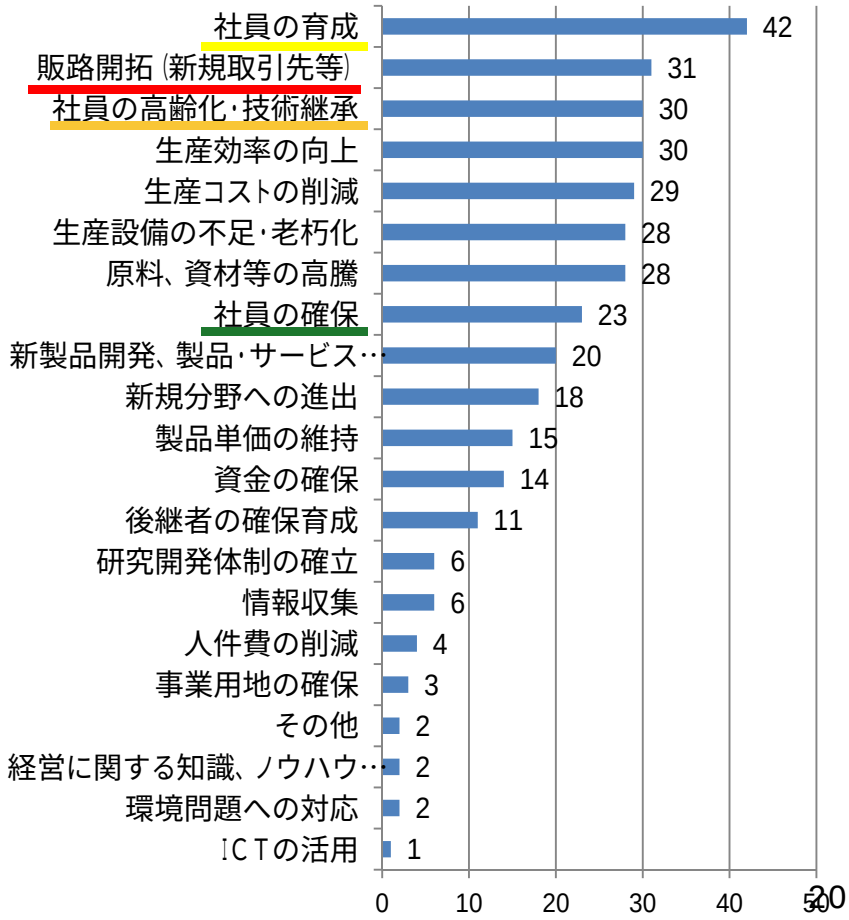
H26年6月～9月に市内製造業を中心に約200社を訪問し、アンケート調査を行った。(現在、回収164社)

【問1】現在の事業所の課題

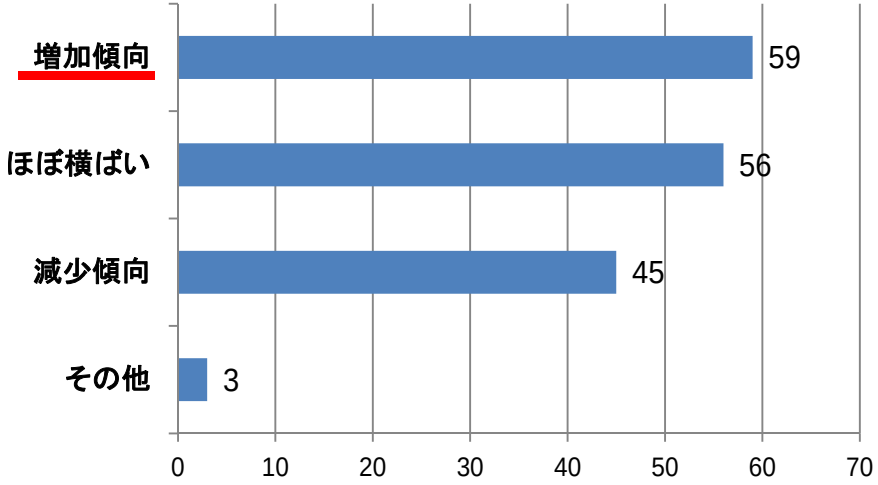
最も大きな課題



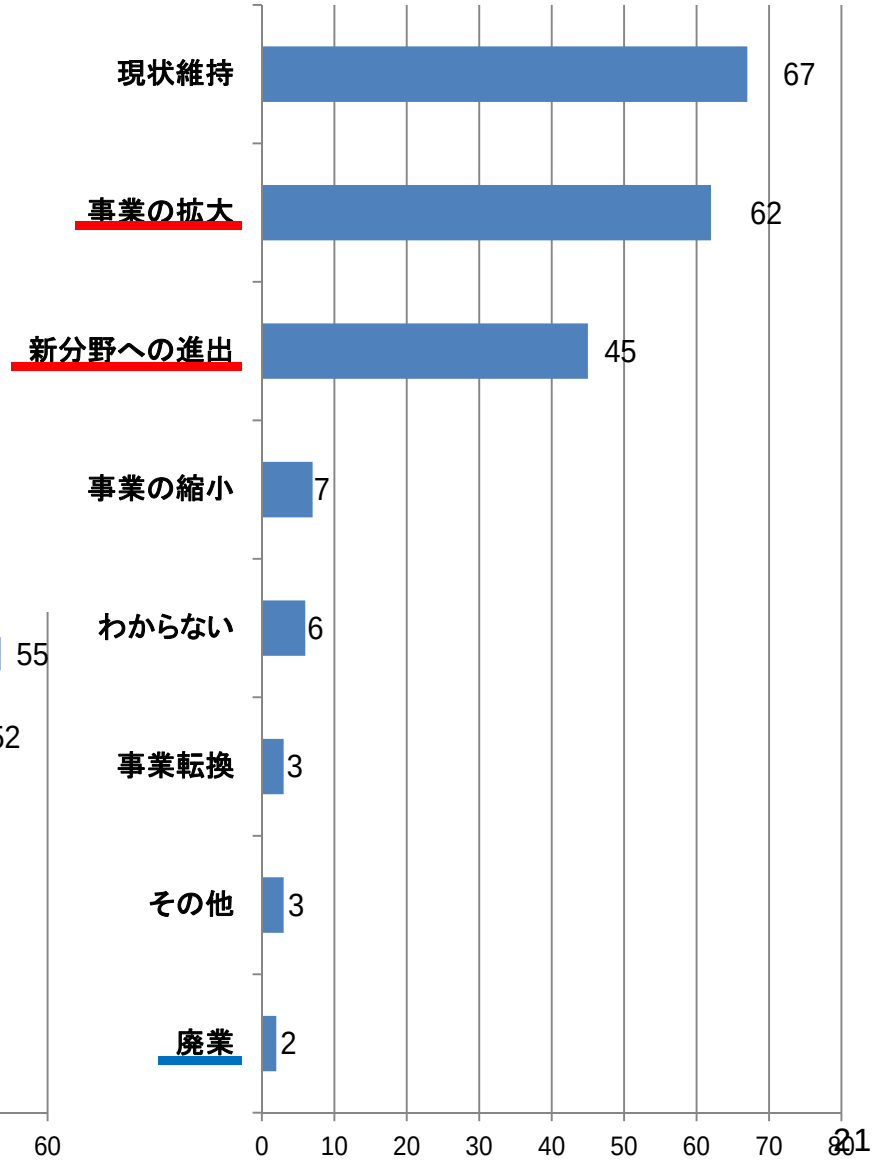
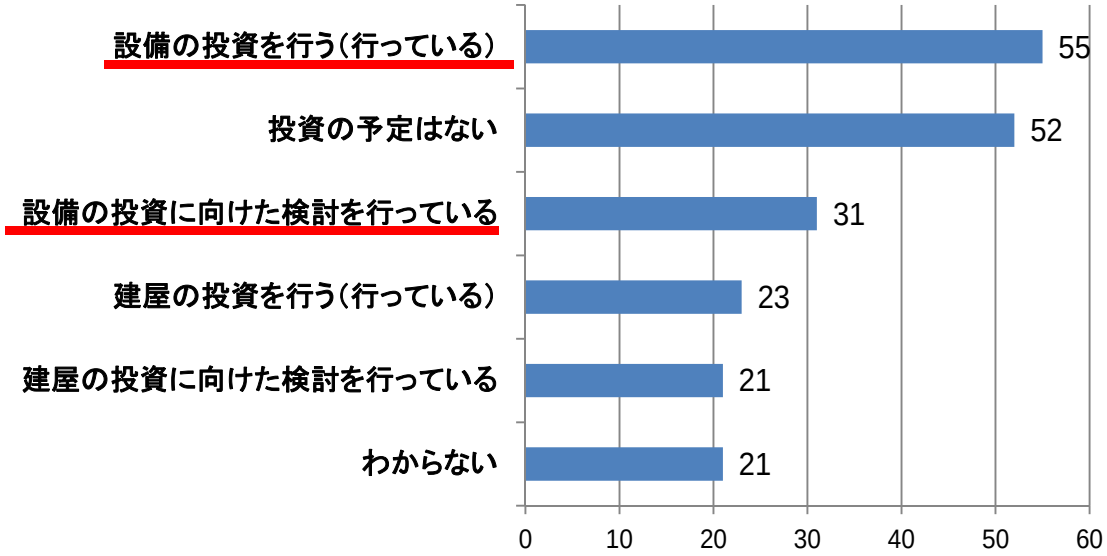
その他の課題
（1社につき3つ以内）



【問2】直近5年程度の売上額の推移



【問3】今後の事業展開



【問4】今後5年以内の設備等の投資予定